



水子

特別
5
6055



1545
8055

八卦

心見丸

みろ物

善好七

たうこまのり

かつふ一よ

燕台

ねあ

丸

丸

あ

丸

丸

あ

丸

餅

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

既

蓬生於麻中
蓬蒿與麻俱生
蓬蒿雖劣於麻
然其性亦與麻
同也

三省軒



其行也

三省軒鷺水稿

人々其行也

其行也

其一寄芥旅

泊りぬるをいん芥と稱ふ女 集六

名もやいん芥といふは

十七日旅に於て其の目には

其二寄芥旅

なつをはきかよふ瓜の海草
あつなをばきかよふ瓜の海草
東風をばきかよふ瓜の海草
さつなをばきかよふ瓜の海草
吹雪乃月をばきかよふ瓜の海草
雪をばきかよふ瓜の海草

洞水

其三寄形をばきかよふ瓜の海草

あつなをばきかよふ瓜の海草

あつなをばきかよふ瓜の海草
叙位あつなをばきかよふ瓜の海草
あつなをばきかよふ瓜の海草

整水

其四寄盤をばきかよふ瓜の海草

あつなをばきかよふ瓜の海草
よつなをばきかよふ瓜の海草
あつなをばきかよふ瓜の海草

山
岷水

其五寄仁座をばきかよふ瓜の海草

後世にけつるやも地六佛乃燈
以修法形と人ふくこ極の屋
露くく中に九輪をよらのひく
彼屋さのくく人さられく家
僧くく日月も新婦みまひつ
なくく福来よをけぬ秋をぬ

醫水

其六奇於業神祇

神食よの能を引く人男神子

如竹

ふる居のまふゆり家白丁
笠のたん鶴民の札をけつて

其七奇酒く代迷懷

まく志ろやくあまきく迷始
消さくくくくくくくく
世をまよまよく衣の垢あし

谷水

あしおのまよくくくくくくく
くくくくくくくくくくくく

多るせつちりひる
〜下〜

其一音

物中一子に〜

固六

其二音子

草〜

籬皮

轍士

其三音也

あおと〜

友麻

ちり〜

其四音

あ〜

鷺水

其五音

京〜

沈風

其六音

あ〜

洞水

其七音

紫〜

塚名

浮月よらて山水の道りりちり 律友
 果ふれと志をけきれ八重橋京 芝蔴
 こらう焼くやりの田の人のろ大坂 政平
 何れぞ志のまふまれ田のうも京 岷水
 名月やそのつるふらふれ常列 葉紅
 昼顔のさぐり比丘尼のえうり大坂 巴水
 りとむり家あやに秋のこ京 劇濃

秋のこ

秋のこすこは色々二りり百里

旅情

京のこくあねれりや事秋犬何列 釣寂
 後かへん島吹りり占列 肅山
 妖をう狐貧し又師走の江戸 其魚
 ちりしと道り火すり京 言水
 ちりけり雪やらり江戸 海邊
 海をけりれは袋く大坂 西彦

梨園に風流をまじりて

なすけ乃まをよせりけ風流

自れ初とてさるかゝるが

乃中の一號

乃あゝゆも縁糸乃白くは

信徳

啓示

芭蕉

